



**循環型社会実現を目指す岸和田製鋼株式会社様に対して
ポジティブ・インパクト・ファイナンスを適用した
総額 20 億円のシンジケートローンを組成**

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（堺支店）は、岸和田製鋼株式会社様（本社：大阪府岸和田市、代表者：鞠子 重孝様）に対し、総額 20 億円のシンジケートローンを組成しました。商工中金がアレンジャーを務め、三菱 UFJ 銀行がコ・アレンジャーを、みずほ銀行、紀陽銀行、南都銀行等が参加し、地域金融機関等との協調により、その組成が実現したものです。なお、本融資には、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、社会インフラにかかせない鉄筋コンクリート用棒鋼を製造する電気炉メーカーです。環境対応型のアーク炉と呼ばれる電気炉を国内でいち早く導入、また、循環水利用による排水の削減など、生産の効率化と環境への負荷軽減を両立した環境経営に取り組んでいます。

今回、同社は再生可能エネルギー創出による温室効果ガスの削減や鉄スクラップ資源の再生利用率維持を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定し、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注） 同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援をしていきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	20 億円（コミットメントライン）
アレンジャー兼エージェント	商工中金 8 億円
コ・アレンジャー	三菱 UFJ 銀行 5 億円
参加金融機関	みずほ銀行、紀陽銀行、南都銀行等 合計 7 億円
契約締結日	2023 年 3 月 28 日

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

【岸和田製鋼株式会社様の概要】

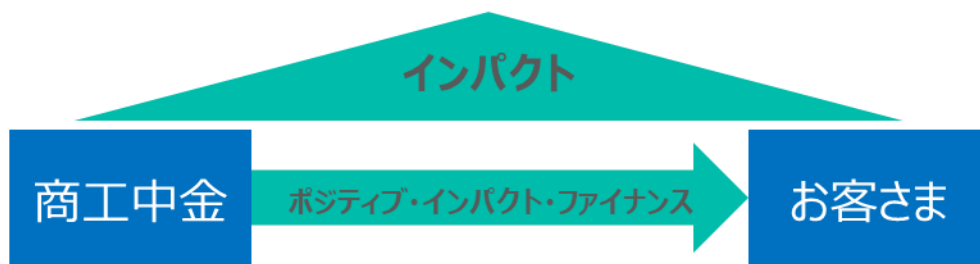
所在地	大阪府岸和田市臨海町20番地	資本金	3億5,790万円
代表者	鞠子 重孝様	従業員数	246名(2022年11月現在)
業種	異形棒鋼製造業	設立	1956年12月

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト(ポジティブな影響・ネガティブな影響)の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

社会全体のサステナビリティ向上 (環境・社会・経済)



- お客さまの経営支援
- 持続可能な社会実現への貢献
- サステナビリティ経営の強化・企業価値向上
- ステークホルダー(仕入/販売先・従業員・地域関係者等)との共感・関係強化